加茂水族館
KAMO AQUARIUM
ISSN 2759 - 6273

かもすい通信

2024 秋号

ブラックシーネットル

Chrysaora achlyos

photo: Murai Takashi

Contents

● 館長のこばなし
● News Topics
- 加茂水族館リニューアル 10 周年記念イベント
- クラゲ採集に行ってきました
- 海外クラゲ採集・シンポジウムと視察
- 『オスアシカの夏休み』～加茂水族館での取り組み～
- 移動動物園・お出かけ水族館 in 湯野浜小
- 新着生物情報
- 釣り採集日誌
● できごと
● インフォメーション

かもすい
KAMO AQUARIUM

館長のこばなし

今年の夏は暑かった。いや、そうではない。春から暑かったし残暑はいつまで続くのだ！という感じで、大好きな釣り採集さえも９月後半からというダメ館長ぶりに我ながらあきれた。これだけ暑いと電気代はかかるし、TV では「危険な暑さなので不要不急の外出は・・・」と、水族館では閑古鳥が鳴いています。ここで提案です。水族館では水槽の結露を防ぐため、かなり冷房を利かせているので、来年はみなさんで涼みに来てください。お願いです。

コロナ以降、久しぶりにタイにクラゲ採集・調査に行ってきました。驚いたことに、タイの気候のほうが過ごしやすくて「日本に帰りたくない」と思ってしまいました。これから冬ですね。ドカ雪になりそうで怖いです。皆様ご自愛くださいね。（奥泉）

▲ タイでのクラゲ採集の様子。
海に入ってクラゲを探します

News Topics

加茂水族館リニューアル 10 周年記念イベントを実施しました

祝 かもすい KAMO AQUARIUM リニューアル 10 周年

当館は 2024 年 6 月 1 日にリニューアルオープン 10 周年を迎え、日頃支えてくださる皆さんに何かお返しできないか？というところから企画が始まりました。

第 1 弾～記念ステッカーの配布～

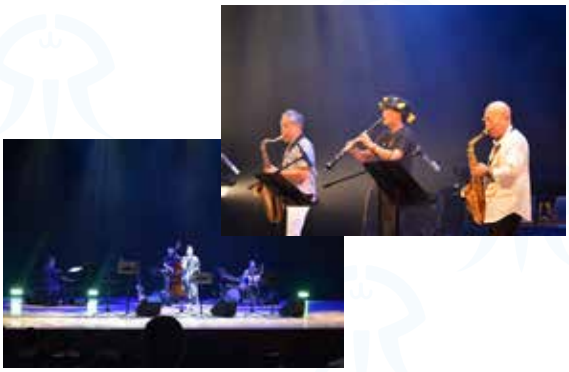
既存のオリジナルステッカーを元に新たな物を 2 種類作成し、6 月 1 日から 10000 枚限定で入館者に配布しました。好評をいただきホッとしました。

▲ 鶴岡市長皆川治氏と加茂水族館名誉館長村上龍男からもご挨拶をいただきました

第 2 弾～かもすい感謝祭～

7 月 31 日に鶴岡市の文化会館【荘銀タクト鶴岡】で開催し、参加人数約 800 人という当館の歴代イベントでも最大規模のものとなりました。トークショーとミニコンサートの 2 部構成で、ゲストにさかなクンと坂田明氏をお招きし、奥泉館長も加わりそれぞれが講話やトークショーを行いました。専門分野はもちろん、専門外の生物への豊富で幅広い知識、経験からなる熱量とユーモアたっぷりのトーク術に会場中が聞き入る様子が伺えました。その後、奥泉館長も在籍するバンドの演奏やさかなクンと坂田明氏の演奏が行われ、トークショーとは違った演者の一面に「かっこよかった！」「もっと聴きたかった」という感想が多く寄せられ、約 2 時間の公演はあっという間に終了しました。イベント実施にあたり、当館に足を運んでくださる方々をはじめ、職場内外の多くの方には目一杯のお力添えをいただき、当日も多くの方にご来場いただき、本当に沢山の支えがあって運営できていることを改めて実感しました。今後も皆さんに応援していただけるような施設で在りたいと思います。（廣瀬）

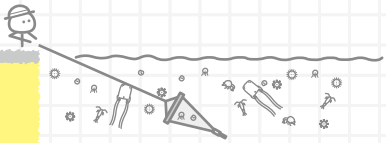
▲生き物に精通した 3 人のトークショーは大好評でした！！
左) 奥泉館長　中央) さかなクン　右) 坂田明氏



▲ ジャズからポップスまでの幅広い演奏に会場の空気感も一気に変わりました

Let’ s go to the jellyfish research!!

クラゲ採集に行ってきました



加茂水族館ではクラゲの展示をより充実させるために定期的な調査を行っています。
～クラゲ調査で訪れた地点～
2024 年 7 月 佐賀県　8 月 長崎県

佐賀県有明海

漁師さんにお願いし、クラゲ漁に乗船させてもらいました。有明海では大型の根口クラゲ類を対象にクラゲ漁がおこなわれているのです。採れたクラゲをいただいて水族館に持ち帰りたい！のはやまやまなのですが、野生のクラゲは巨大すぎて山形まで輸送するのは困難です。そこで受精卵を採取して繁殖につなげようという作戦にしました。早朝から沖へ出て、クラゲ漁を見守ります。…が、とれませんでした。漁師さんのお話では、最近急にクラゲが減ったとのこと。有明海の環境変化などが頭をよぎり、心配になりつつ船をおりました。

気を取り直して、せっかくの機会ですから、近隣の沖端水族館（福岡県柳川市）、九十九島水族館（長崎県佐世保市）、干潟展望館（佐賀県鹿島市）を見学してきました。各館のスタッフの皆様には丁寧にご案内いただきました。深く感謝いたします。干潟展望館では講演会も企画してもらって市民の皆様にクラゲの話をする機会にも恵まれました。

またいずれ有明海のクラゲ採集にリベンジしたいと思いつつ、帰途につきました。

（村井）

データ

日時：2024 年 7 月 22 日～ 7 月 25 日
採集方法：クラゲ漁に乗船　　水温：30.5 ℃

▲ 有明海のクラゲ漁

▲ 魚屋さんで販売されていた
アリアケビゼンクラゲ（口腕部分）

▲ 干潟の生き物観察も少しできました

長崎県橘湾・野母半島

長崎県へクラゲ調査に行ってきました。長崎といえば佐世保市の九十九島にクラゲがたくさん出現することで有名ですが、今回はとあるクラゲを狙って別の地点で採集を行いました。

今回は長崎ペンギン水族館にご協力をいただき、いくつかの地点を巡りました。日中はもちろん、夜間に灯火採集を行いタコクラゲやニホンベニクラゲ、ツリアイクラゲ、カブトクラゲや今回狙っていたクラゲの 1 種であるクロメクラゲ属の仲間などを採集することができました。クロメクラゲ属の仲間は稚クラゲを採集し育てて大きくなったものを 8 月末から展示しました。形が特徴的で他の水族館でもあまり展示されていない種類で加茂水族館では初めての展示です。このクラゲは飼育していると飼育水が金属のような匂いがするという話を聞いたことがあり、実際に確認してみると不思議なことに金属の匂いがしました。今回採集できた個体からポリプがゲットできるように試行錯誤していきながら、このクラゲの常設展示を目指していきたいと思います。（玉田）

データ

日時：2024 年 8 月 21 日～ 8 月 23 日
採集方法：柄杓・プランクトンネット・灯火採集　　水温：30 ～ 31 ℃

※ 灯火採集を禁止している場所もあるので行う際は事前に調べてから行ってください。

▲ 海面いっぱいに特大の
タコクラゲがたくさんいました

灯火採集の様子 ▼

▲ クロメクラゲ属の仲間．採集した稚クラゲを育てました

海外 クラゲ採集・出張

タイ クラゲ調査

▲ 船で採集する様子

2024 年 8 月 1 日～ 8 月 8 日にタイへクラゲ調査に行ってきました。今回はブラパ大学、東海大学、黒潮生物研究所の研究者の方に同行させていただきました。

タイのブラパ大学とは MOU 契約※を結んでおりこれまで交流を深めてきました。新型コロナウィルスが流行する前の 2018 年にも一度タイにクラゲ調査に行っており、今回は 2 度目となります。タイではほぼ毎日朝から晩までクラゲ調査を行いました。岸や船の上から目視でクラゲを探したり、プランクトンネットを引いたり様々な方法でクラゲを採集していました。採集したクラゲはブラパ大学の研究室で日本に帰る時まで維持してもらいます。大きなクラゲはそのまま水槽に入れて維持できるのですが、プランクトンネットで引いて採集した小さなクラゲは、まずゴミなどが混ざった海水の中から顕微鏡を使ってクラゲを探さなければいけません。これが非常に大変な作業なのです。苦労してクラゲだけを取り分けた後は、温度が管理された部屋で維持します。

今回はミノクラゲとフウセンクラゲの仲間を無事に生かして日本へ持ち帰り、展示して皆様にお見せすることができました。また次回タイに行ったときにはもっと面白いクラゲと出会い、展示することができたら嬉しいです。(池田)

▲ プランクトンネットでプランクトンを採集する様子

▲ プランクトンの中からクラゲを探し出す作業。クラゲは透明で小さいので探すのが大変です。

▲ 現場で探すこともあります。

▲ 顕微鏡を使って観察をする館長

※MOU 契約：お互いの研究者や飼育員の国際的な交流、研究や展示のための標本や資料の交換、クラゲの飼育技術や情報の交換などを行うための協力協定です。

モンタレー湾水族館　シンポジウム・視察

9 月 11 日、12 日に開催された『Kurage Con International Jellyfish Symposium2024 in Monterey』に参加してきました。「Kurage Con」とはクラゲ飼育者の集まりで、今回が記念すべき第 1 回目です。当館からは館長と飼育員 2 名が参加し、3 名とも発表を行いました。慣れない英語に苦戦しながらも発表や情報交換をすることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。モンタレー湾水族館の見学はもちろんのこと MBARI※の見学もさせていただきました。モンタレー湾水族館では深海のクラゲの展示や繁殖が行われており、その技術の高さに感動しっぱなしでした。

また、カリフォルニア科学アカデミーの見学、マリンママルセンター（海生哺乳類の保護施設）の見学もしました。そして、野生の海獣たちも見てきました。カリフォルニアアシカはいたるところにいましたが、一部ビーチでは閉鎖されるほどの一面のアシカ!!一生分のアシカを見たような気がします。そして、海藻の隙間からはラッコがぷかり。ウニをむしゃむしゃ食べていました。アニョヌエボ州立公園ではキタゾウアザラシも見てきました。書ききれないほど貴重な体験をさせてもらい、今後の展示・繁殖・飼育に役立てていきたいです。（佐藤）

▲ 集合写真

▲ モンタレー湾水族館のバックヤードに歓迎のイラストが！（左）
モンタレー湾水族館 展示 深海にいるカブトクラゲの仲間 (右)

▲ モンタレー湾水族館 展示
とても大きなパープルストライプドジェリー

▲ サンカルロスビーチのアシカ (左上)　マリンママルセンターの保護施設（右上）
ウニを食べるラッコ (左下)　アニョヌエボのキタゾウアザラシ (右下)

※MBARI：モンタレー湾水族館研究所

『オスアシカの夏休み』～加茂水族館での取り組み～

▲ カルフォニアアシカ：コア

現在、加茂水族館ではカリフォルニアアシカのオス４頭とメス２頭、計６頭を飼育・展示しています。カリフォルニアアシカは６月～８月に発情期を迎えます。

発情期になると、集中力が下がりコントロールが効かなくなるため、これまでのアシカショーではプールに離れ部屋に帰らない、途中で帰ってしまい部屋から出てこないことが多くありました。トレーナーはあの手この手を使いショーを実施していました。しかし、動物にも人間にも負担になっているのではないか？と考え、動物たちの健康と福祉を重視しこの時期は、無理をさせない。アシカにも『夏休み』を導入することにしました。まずは、催し物の名称を『アシカショー』から『ひれあしの時間（給餌解説）』に変更、発情の兆候が見られたら催し物への参加はお休みとしました。内容も高度なトリックから単純なトリックへの移行。体重や給餌量の見直しを行い、健康状態をより良好に保つことができ、次のシーズンでも安定して実施できるようになりました。（伊藤）

▲ 体重測定の様子（コア）

▲ 壁直立（コア）

移動動物園・お出かけ水族館 in 湯野浜小

▲ モルモットをやさしくなでなで。動物の体温を実感したかな。

▲ アカコンゴウインコの「メレブちゃん（雌 12 歳）」

加茂水族館、秋田県立男鹿水族館 GAO、そして秋田市大森山動物園の３園館連携特別イベント「移動動物園・お出かけ水族館」を、昨年の秋田市立浜田小学校での実施に続き、今年は鶴岡市立湯野浜小学校（児童 86 人）で行いました。

大森山動物園からはおしゃべりが得意なアカコンゴウインコをはじめ、モルモットやウサギなどを展示。男鹿水族館はウニやヒトデなどの海辺の小動物とのふれあい体験にアシカ・アザラシの出産子育てのぬいぐるみを使った解説。加茂水族館からはクラゲ２種の水槽展示とミズクラゲ（赤ちゃんクラゲ（エフィラやメテフィラ）～成体クラゲまで）の餌をとる様子を肉眼やデジタル顕微鏡を使って観察する体験学習を行いました。

今回は去年の倍の８つの展示コーナーを設けました。大森山動物園には４つのコーナーを設営していただき、動物園がない山形県内で貴重な体験の場となりました。（里見）

新着生物情報

ウミウシ始めました

▲ コモンウミウシ

▲ シラユキモドキ

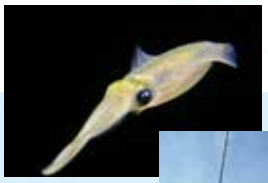
ふと、磯をのぞいてみると様々な色の生き物たちがいます。そんな生き物たちの中でもウミウシは一際カラフルで目を見張ります。そんなウミウシについて、今年から加茂水族館周辺の生息状況について調査を始めたところ、４月～９月の間に 26 種のウミウシを採集し、そのうち 13 種は初展示となりました。南国のイメージが強いウミウシですが、この庄内にも沢山のウミウシがいるんですね。一方、ウミウシは食べるものが種ごとに様々で、海藻、カイメン、クモヒトデ、コケムシ、はたまた他のウミウシ等々、それぞれ用意してあげなければいけません。何を食べるか分かっていないウミウシも沢山いるので、日々色々なものを水槽にいれて観察しています。また、繁殖の方法も確立されていないので、こちらも今後挑戦していきたいと思っています。これからのウミウシ展示にも是非注目していただけたら嬉しいです。（菅野）

ミノクラゲを展示しました

▲ タイで採集したミノクラゲ

８月９日から東南アジアに生息するミノクラゲの展示が始まりました。傘の表面全体には毛のような突起をまとっていてその姿はクラゲの中でも個性的です。名前の「ミノ」は蓑（みの）をまとっているような姿が由来と言われています。加茂水族館ではミノクラゲのポリプを飼育していますが、なかなかな上手く育成することができない種類です。今回展示したクラゲはタイへ採集に行ったスタッフが成体を採集したもので、空輸で水族館まではるばるやってきました。野生から搬入する生きものには寄生虫などがいることがおおく、それが原因で弱ってしまいます。今回のミノクラゲにも甲殻類などの寄生虫がついていたので、搬入してからしばらくはクラゲにダメージがない範囲で淡水浴をして寄生虫を駆除しながら展示しました。この機会にたくさんの方にご覧いただき嬉しく思います。（玉田）

釣り採集日誌　～アオリイカ～



▲ アオリイカ

▲ 釣っているのは館長

夏から秋にかけてのメインターゲットの１つが「アオリイカ」で、「エギ（餌木）」というルアーを使って釣ることができます。この時期のアオリイカは夏前に産まれて成長した「新子」と呼ばれる比較的小型の個体で、特に９月上旬のシーズン初期はまだ警戒心の薄い個体が多く、小さなアオリイカの群れがエギを追いかける様子を見ながら釣ることもできます。採集時は水族館で所有している小型船で少し沖の離岸堤付近を回り、居着いている場所を探りながら釣っていきます。シーズン中盤の 10 月頃になると警戒心が高い個体が増えるためなるべく早い時期が釣れ易くはあるものの、残暑厳しい時期の採集はなかなかに大変です。今年もなんとか無事必要な数を確保し、展示を行っています。（後藤）

できごと（2024 年 7 月 ~9 月）

● 調査・研究　● 教育普及　● イベント　● 売店　● レストラン　● その他

7 月 1 日	●	書籍 みんなが知りたい！クラゲのすべて 販売開始
	●	クラゲタピオカパフェ～庄内砂丘メロン～を限定販売 (～8 月 25 日)
	●	七夕笹飾り クラゲドリームシアターを装飾 (～7 月 7 日)
7 月 3 日	●	クラゲ学習会 大山小学校 45 名参加
	●	調理師会定時総会 鱧・フグ講習会に出席 (～7 月 5 日)
7 月 5 日	●	津波情報伝達訓練
7 月 6 日	●	ボランティア 岩ゆり講習会・総会
7 月 7 日	●	わくわくクラゲサイエンス 20 名参加
7 月 8 日	●	出張加茂水族館 in FOODEVER
	●	日本水族館協会 第 6 期通常総会を鶴岡で開催 (～7 月 9 日)
7 月 9 日	●	海ごみ学習会 鶴岡市立齋小学校 15 名参加
7 月 11 日	●	移動動物園・お出かけ水族館 湯浜小学校にて大森山動物園と男鹿水族館の 3 園館で実施
	●	水棲動物医学研究会に出席 (～7 月 12 日)
7 月 13 日	●	山艸そばの販売開始
	●	北前船紅花御膳の販売開始
	●	やまがたみなとオアシススタンプラリーのスタンプ設置 (～9 月 30 日)
7 月 16 日	●	鴨川シーワールドより 1 名 飼育研修の受入 (～7 月 20 日)
7 月 20 日	●	第 57 回 音楽のタベ「SXQ」出演
	●	【飼育員の暴走シリーズ第 6 弾！】メタリックマグネット ミズクラゲ　販売開始
	●	東京都クラゲ採集
7 月 21 日	●	クラゲ自由研究相談会 11 名参加
7 月 22 日	●	佐賀クラゲ採集 (～7 月 25 日)
	●	八景島シーパラダイス へ視察 (～7 月 23 日)
7 月 23 日	●	関東東北動物園水族館獣医師臨床研究会に出席 (～7 月 24 日)
	●	海ごみ学習会 温海中学校 108 名参加
7 月 24 日	●	陸上養殖設備展に参加
	●	クラゲ学習会 慶應サマーバイオカレッジ 18 名参加
7 月 31 日	●	リニューアル 10 周年記念イベント「かもすい 10 周年感謝祭」を実施
8 月 1 日	●	クラゲ学習会 新潟市立新発田高等学校 37 名参加
	●	クラコロラーメンの販売開始 (～8 月 31 日)
8 月 2 日	●	タイ クラゲ採集 (～8 月 8 日)
8 月 4 日	●	わくわくクラゲサイエンス 23 名参加
8 月 5 日	●	交通事故防止啓発活動
	●	山形大学理学部より 20 名 臨海実習の受入 (～8 月 7 日)
8 月 8 日	●	「だだちゃ豆の日」PR イベント
	●	バックヤードツアー 慶應幼稚舎・横浜初等部合同合宿 50 名参加
8 月 9 日	●	旅する水族館 2024（横浜ロフトでグッズ販売）(～9 月 1 日)
8 月 10 日	●	「MAGISTER ブランド烏賊大使」に任命されアラスカ州で地元料理人に イカの調理技術を伝える (～8 月 20 日)
8 月 18 日	●	わくわくクラゲサイエンス 16 名参加
	●	第 58 回 音楽のタベ「中西暁子・片倉真由子 DUO」出演
8 月 21 日	●	長崎クラゲ採集 (～8 月 23 日)
8 月 25 日	●	立命館大学 ワークショップ「クラゲに未来を託した水族館の物語」にて講和
8 月 29 日	●	「みんなが知りたい！クラゲのすべて」新刊発売イベントに参加
8 月 30 日	●	南陽市教育委員会主催「海洋キャリア教育セミナー～海の仕事へのパスポート～」にて講和
9 月 1 日	●	源流の森出前教室 50 名参加
9 月 5 日	●	職業講話 東北高校 35 名参加
9 月 6 日	●	クラゲ学習会 大蔵村立大蔵小学校 20 名参加
	●	庄内地域 PR イベント Find Your Sky in HANEDA ～美味しい庄内、いただきます～に参加
	●	東京都豊橋区立千登世橋中学校にて講和
9 月 7 日	●	第 59 回 音楽のタベ「高瀬龍一 DUO with 続木徹」出演
9 月 8 日	●	わくわくクラゲサイエンス 15 名参加
	●	クラゲ学習会 鶴岡市立下町育成会 31 名参加
9 月 9 日	●	モンタレー湾水族館 開催のシンポジウムに参加・施設見学 (～9 月 17 日)
9 月 10 日	●	海ごみ学習会 鶴岡市立齋小学校 16 名参加
9 月 11 日	●	クラゲタピオカパフェイチジクを限定販売 (～10 月 3 日)
9 月 13 日	●	海ごみ学習会 鶴岡市立西郷小学校 11 名参加
9 月 15 日	●	クラゲ学習会 宮城県加茂地区オンライン交流イベント 30 名参加
9 月 22 日	●	源流の森主催 体験イベント 森林の文化祭に出展
	●	環境フェアつるおか 2024 に出展

クラゲタピオカパフェ

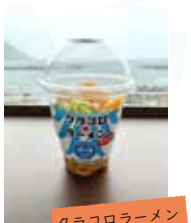
音楽のタベ

メタリックマグネット販売

北前船紅花御膳

かもすい 10 周年感謝祭

環境フェアつるおか 2024


クラコロラーメン

源流の森出前教室

オールナイトカモスイ

YouTube で毎週土曜日
18 時～翌朝 8 時まで配信

Information

音楽の夕べ ～あなたとクラゲと音楽と～

『音楽の夕べ』はミズクラゲが漂う直径５メートルの大水槽、クラゲドリームシアター前で開催されるマンスリーコンサートです。フワフワと漂うクラゲたちとジャズ、クラシック、ポップスなど様々なジャンルの音楽との融合を楽しむ事が出来るイベントとして 2017 年から開催してきました。廃校になった小学校のグランドピアノが当館へやってきたことがきっかけとなり始まった音楽の夕べは、公演回数が 60 回を超え、多くのお客様から好評をいただいております。

出演スケジュールは加茂水族館公式 HP や公式 SNS で確認する事が出来ます。また、入館料のみでご覧いただけます。
ご来館できないときは Youtube ライブ配信も行っておりますので、ぜひそちらでもお楽しみください。（香焼）

今後のスケジュール：
2024 年 11 月 16 日（土）鹿野信一＋池の本和美＋有地トリオ
12 月 23 日（月）磯見博カルテット
2025 年 1 月 18 日（土）岡本優子・山本純ジャズデュオ
2 月 24 日（月）vocal unit a・i

書籍 みんなが知りたい！クラゲのすべて 販売！

＼＼オンラインショップでも販売中／／

７月１日にクラゲの本を発売しました。小学生向けの書籍となっているため、ふりがながふってあります。なるべく優しい文章を心掛けたので、クラゲに興味があるけどあんまり難しいのは苦手だなぁ…という方にもピッタリの書籍です。「クラゲのすべて」という大層なタイトルがついていますが、クラゲはまだまだわからない、わかっていないことがたくさんあります。この本をきっかけに少しでもクラゲに興味を持ってもらえたら嬉しいです。そして、あわよくば、クラゲ研究の道に進む人がでてきて、わからないことを解き明かしてもらえたら…と思っています。（佐藤）

【書籍情報】
書名：『みんなが知りたい！クラゲのすべて きれいな姿や色の魅力からゆらめく動きのヒミツまで』
発売日：2024 年 7 月 1 日
仕様：A5 判／ 128 ページ／ソフトカバー
ISBN：978-4-7804-2921-3
発行：株式会社メイツユニバーサルコンテンツ

飼育員の暴走シリーズ 好評販売中です♪

飼育員の暴走シリーズは、2021 年から開発を始めた当館でしか購入できないオリジナルグッズです。当館ではこれまで飼育員が傘やＴシャツなど様々な商品を開発してきましたが、そのような商品を「飼育員の暴走シリーズ」としてシリーズ化したものです。飼育員が欲しいと思う物を追求した、まさに飼育員の妄想が爆発した加茂水族館オリジナルグッズを作成しています。普段から生き物の飼育に携わる飼育員ならではのこだわりが詰まった商品になっています。（池田）

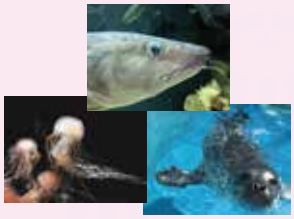
飼育員のグッズ開発は続きます！
新作を楽しみにしてください！

▲どうしたらより良いものになるか悩むスタッフ

かもすい オンラインショップからも購入できます

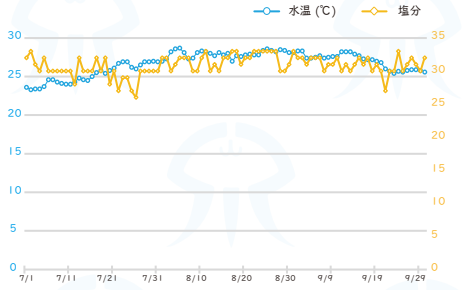
【ツナグ∞かもすい 応援プロジェクト】

加茂水族館のある鶴岡市ではリニューアルに伴う休館中の飼育環境整備を目的としたクラウドファンディングを行なっています。休館中のクラゲたちをはじめとする生き物、その暮らしをみんなで支え、未来へつなげられるよう、ご支援をお願いします！



プロジェクトページはこちらをクリックしてください！

加茂の水質　2024 年 7 月～ 9 月



※ 水温は海水貯留槽内の水温を計測

磯情報

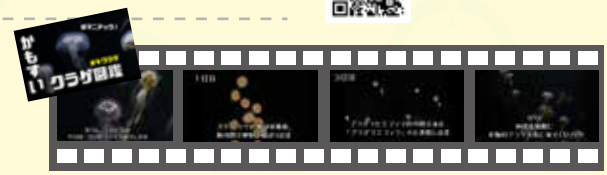
秋はマアジが釣れます。釣り方はサビキやルアー等さまざま。初心者～上級者まで楽しめます。

砂浜や磯でスズキが釣れます。少し荒れているときが狙い目なので、やや上級者向けかもしれません。装備は万全に！

YouTube メンバーシップ（かもすいマスター）で動画を更新中です♪

◀ 詳しくは QR コードからご確認ください

加茂水族館では８月から YouTube メンバーシップが始まりました。クラゲたちを一晩中生配信するオールナイトカモスイのアーカイブ (HD と 4K 映像) の他に [動く！かもすいクラゲ図鑑] というジャンルの動画をアップロードしました。この動画では１種類のクラゲの生活史に注目したもので、クラゲはどのような一生を追うのか詳しく知ることができます。今はまだ２種類のみですがこちらの動画もゆっくりと更新していきますのでこの機会にぜひご入会ください。



▲動画ではオキクラゲの生活史について紹介しています

かもすい通信　Vol.1 No.2 2024 年 11 月発行（通号２号）
● 発 行　鶴岡市立加茂水族館　〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1 / TEL 0235-33-3036　https://kamo-kurage.jp
● 編 集　玉田亮太
● 動物取扱業に関する表示
代表者氏名：鶴岡市 市長 皆川治 / 事業所の名称：鶴岡市立加茂水族館
事業所の住所：〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1 / 登録に係る第一種動物取扱業の種別：展示
動物取扱責任者：吉見則夫 / 登録番号：庄保 26 展第１号 / 登録の年月日：平成 26 年 5 月 26 日 / 有効期間の末日：令和 11 年 5 月 25 日

かもすい KAMO AQUARIUM

最新情報は SNS をチェック♪

本誌の掲載記事、写真等の無断複写・複製転載を禁じます